

豊橋商工会議所 第12回 環境経営賞

優秀賞

再生可能エネルギー普及促進に向けた自己託送事業

【表彰理由】

本事業は、同社の豊橋供給センター内に設置した約600kWの太陽光発電設備で発電した電力を一般送配電事業者の送配電ネットワークを介して豊橋駅前に立地する同社の本社ビルへ自己託送して供給することにより、発電した再生可能エネルギー電力を自家消費して事業活動におけるCO₂削減(年間約356t)を目指したものである。

太陽光発電の普及促進に向けて、FIT(固定価格買取制度)の売電価格が低下する中、PPA(電力販売契約)や自己託送の活用が期待されている。

自己託送の実施については、再生可能エネルギーを最大限利用することでCO₂排出量を大幅に削減できる、再エネ賦課金を削減できる(発生しない)、燃料費調整単価の変動の影響を受けなくなり電気料金が固定化できるなどのメリットがある。一方で、その実施においては発電計画と託送計画の立案、さらにその基となる日射量予測や需要予測が重要であるが、より精度の高い日射量予測や計画の立案には課題もある。

同社は今後、本事業を展開する中でノウハウを積み上げながら技術開発を進め、将来的には本事業を地域企業の脱炭素化の取り組みをサポートするための自己託送代行サービスへと展開することを目指している。

以上の理由から、本事業の進展は、同社の脱炭素化のみならず、地域の脱炭素化・低炭素化に寄与することも期待されることから、本事業に「豊橋商工会議所 環境経営賞 優秀賞」を贈り顕彰する。

令和6年3月27日

豊橋商工会議所 環境経営賞 審査委員長
稲垣 隆司

